

日本介護支援専門員連盟

令和4年度 定時総会

議案書



日本介護支援専門員連盟

令和4年8月25日（総会返信締切日）

書面総会



令和4年度 日本介護支援専門員連盟 書面総会 資料

1 ; 報告事項

1) 令和4年度日本介護支援専門員連盟事業中間報告————— 4 p

2) 監査報告————— 8 P

2 ; 議題

第1号 令和3年度事業報告の承認を求める件————— 10 P

第2号 令和3年度決算報告の承認を求める件————— 16 P

第3号 令和5年度事業計画の承認を求める件————— 20 P

第4号 令和5年度会計予算の承認を求める件————— 21 P

第5号 規約一部改正につき承認を求める件————— 23 P

《参考資料》

日本介護支援専門員連盟規約————— 24 P

会員規則————— 27 P

令和4年度日本介護支援専門員連盟事業中間報告

1 ; 会員現況 (4月30日現在)

令和3年度会費納入者(期首会員数)	103名	(参考: 令和2年度99名)
令和4年度会費自動差引完了者	46名	(参考: 令和3年度33名)
令和4年度会費直接納入者	43名	(参考: 令和4年7月7日現在)

2 ; 連盟の会議と活動

(1) 第1回 4役会議(最高顧問・会長・副会長・幹事長の会議)

令和4年2月10日(水) ZOOM

(2) 第2回 4役会後 令和4年3月25日 ZOOM

(3) 第1回理事会 令和4年4月22日 ZOOM

(4) 議員等との交流などロビー活動

令和4年1月1日～7月31日

日付	議員名	内容
1月1日	たばた 裕明	厚生部局令和4年度予算部局PR版情報提供
1月13日	後藤 茂之	衆議院議員 後藤茂之モーニングフォーラム
1月15日	加藤 勝信	かつのぶ通信 2022年新年号
1月15日	末松信介	賀状へのお礼
1月21日	片山 さつき	参議院議員片山さつき懇談会
1月23日	片山 さつき	参議院議員片山さつき懇談会
1月27日	そのだ 修光	園田事務所との事務局会議
1月30日	橋本岳・自見英子	結婚報告あいさつ
2月6日	青山 繁晴	第123回独立講演会@大阪
2月8日	国民政治協会	新年懇談会中止案内
2月10日	日本協会	支部長会オブザーバー出席
2月21日	片山 さつき	参議院議員片山さつき懇談会
2月22日	自見 はなこ	自見事務所との打合せ会
2月22日	松本 純	自由民主党への復党挨拶
2月25日	西村 康稔	衆議院議員西村やすとしFAXニュース
2月28日	そのだ 修光	園田事務所との事務局会議
3月10日	山本 左近	山本左近ニュース No3
3月12日	青山 繁晴	第124回独立講演会@東京
3月14日	武見 敬三	武見敬三 敬人会勉強会
3月15日	左藤 章	前衆議院議員 左藤章君を励ます会
3月16日	茂木 敏充	衆議院議員 2022 茂木敏充政経フォーラム
3月17日	松本 純	松本純まちかど政治瓦版3月号
3月17日	本田 顕子	広報紙自由民主と対談記事
3月19日	松川 るい	松川事務所(門真)訪問(議員連盟加入要請他)
3月22日	関 芳弘	関 芳弘 訓を励ます会

3月25日	自見 はなこ	自見はなこ通信 NO. 1
3月28日	加藤 勝信	第36回加藤勝信昼食勉強会
3月29日	自由民主党	参議院石川県選挙区補欠選挙推薦依頼
4月6日	園田 修光	園田修光後援団体代表者座談会
4月7日	尾辻 秀久	面会（議連のことについて）
4月7日	自民党	「各種団体協議会懇談会」
4月7日	片山 さつき	片山さつき懇談会
4月9日	松川 るい	第26回参議院議員通常選挙推薦状 手交（門真松川事務所）
4月10日	青山 繁晴	第125回独立講演会@神戸
4月11日	片山 さつき	参議院議員 片山さつき 政経セミナー
4月12日	片山 さつき	片山さつき懇談会
4月14日	志公会	志公会と語る夕べ
4月14日	後藤 茂之	「藤信会」後藤茂之モーニングフォーラム
4月17日	園田 修光	そのだ修光後援会事務所開き
4月18日	松本 純	松本純まちかど政治瓦版4月号
4月18日	山本 左近	面会の礼状
4月19日	片山 さつき	片山さつき懇談会
4月21日	片山 さつき	片山さつき懇談会
4月21日	世耕 弘成	世耕弘成政経セミナー
4月25日	西村 明宏	西村明宏君を励ます会
4月26日	加藤勝信・田村憲久	加藤事務所及び田村事務所訪問 懇談
4月26日	加藤 勝信	平成研究会セミナー
4月28日	片山 さつき	片山さつき懇談会
5月6日	松本 純	松本純まちかど政治瓦版5月号
5月8日	青山 繁晴	第126回独立講演会@東京
5月10日	山本 左近	左近ニュースNo. 5
5月11日	自見 はなこ	自見はなこ推薦団体対策会議
5月11日	小倉 将信	小倉まさのぶ君を励ます会
5月11日	そのだ 修光	そのだ修光後援団体事務局会議
5月12日	松山 政司	松山政司政経文化セミナー
5月12日	片山 さつき	片山さつき懇談会
5月16日	松川 るい	参議院議員松川るいと日本新時代を拓く会
5月17日	清和会	清和政策研究会との懇親の集い
5月17日	櫻田 義孝	櫻田義孝君を励ます会
5月18日	片山 さつき	片山さつき懇談会
5月18日	田畑 裕明	たばた裕明君を育てる会
5月19日	園田 修光	そのだ修光選挙対策会議
5月20日	三原じゅん子	参議院議員三原じゅん子さんを励ます会
5月21日	渡嘉敷奈緒美	挑戦の会設立総会

5月21日	谷川 とむ	衆議院議員谷川とむ君を励ます会
5月23日	石川 昭政	衆議院議員石川昭政政経セミナー
5月23日	片山 さつき	片山さつき総決起集会 東京23区
5月25日	自民党	主要団体実務者研修会
5月26日	衛藤 晟一	衛藤晟一先生と協会・連盟の打合せ会
5月27日	片山 さつき	片山さつき総決起集会 三多摩地区
5月27日	園田 修光	園田修光後援団体合同記者会見
5月29日	中山 泰秀	中山康秀政経文化会
5月30日	松川 るい	松川るいを育てる会出版記念パーティ
5月30日	加藤 勝信	第37回加藤勝信昼食勉強会
5月30日	園田 修光	そのだ修光 総決起大会鹿児島
5月30日	園田 修光	菅義偉前内閣総理大臣を囲む会
6月1日	茂木 敏充	茂木敏充 2022 政経セミナー
6月1日	片山 さつき	片山さつき懇談会
6月1日	片山 さつき	片山さつき懇談会
6月2日	園田 修光	第2回そのだ修光選挙対策会議
6月4日	岡下 昌平	前衆議院議員岡下昌平君を励ます会
6月4日	片山 さつき	片山さつきを応援する会
6月6日	片山 さつき	片山さつき懇談会
6月6日	片山 さつき	片山さつき国政報告会
6月6日	松本 純	松本純まちかど政治瓦版6月号
6月6日	大家 敏志	大家敏志モーニングセミナー
6月7日	大家 敏志	第26回参議院議員通常選挙推薦状手交
6月7日	衛藤 晟一	えとう晟一と明日を語る会
6月8日	丸川 珠代	ケアテック議連関係で訪問
6月8日	園田 修光	第3回全国老施協選対会議
6月10日	西村 康稔	西村指す都市大阪康風会出版記念セミナー
6月11日	小川 かつみ	第26回参議院議員通常選挙推薦状送付
6月12日	松川 るい	自由民主党憲法を考える会（OMMビル）
6月13日	園田 修光	そのだ修光総決起集会
6月17日	菅 義偉	菅義偉君を囲む「新しい国づくりセミナー」
6月17日	自民党	主要団体代表者懇談会
6月18日	青山 繁晴	第127回独立講演会@神戸
6月20日	伊吹 文明	第38回明風会
6月21日	園田 修光	第4回選挙対策会議
6月22日		第26回参議院議員通常選挙告示日
7月10日		第26回参議院議員通常選挙投開票日
7月11日	細田 博之	細田博之時局講演会
7月14日	武見 敬三	敬人会勉強会

7月23日	松本 純	松本純まちかど政治瓦版7月号
7月31日	青山 繁晴	第128回独立講演会@東京

(5) 対外対応

- ・年賀状発送（日本ケアマネジメント推進議員連盟の先生方）
- ・日本介護支援専門員協会支部長会にて連盟の情勢報告（令和4年2月10日）

(6) 第26回参議院議員通常選挙当連盟推薦議員

- ◎**全国比例** そのだ修光、片山さつき、自見はなこ、小川克己 以上4氏
- ◎**選挙区** 佐賀県選挙区 福岡 資麿、福岡県選挙区 大家 敏志
兵庫県選挙区 末松 信介、大阪府選挙区 松川 るい
和歌山県選挙区 鶴保 庸介

※小川克己、大家敏志、松川るい氏 令和4年度の入ってから推薦

※そのだ修光、片山さつき、自見はなこ、福岡資麿、助松信介、鶴保庸介

以上6氏は令和3年度に推薦済

(7) 第26回参議院議員通常選挙結果

◎**全国比例** 片山さつき、自見はなこ 両氏当選 そのだ・小川 両氏落選

◎**選挙区** 福岡資麿、大家敏志、末松信介、松川るい、鶴保庸介 5氏全員当選

(8) その他 連盟役員名刺作成

3 ; 都道府県単位の連盟設立報告

令和4年7月1日 沖縄県介護支援専門員連盟 設立

設立総会次第

沖縄県介護支援専門員連盟設立総会プログラム 令和4年7月1日（金）司会上間圭悟

15:00 受付開始（オンライン）

15:30 開会のあいさつ 沖縄県介護支援専門員連盟北部地区担当上間圭吾

15:35 祝辞 日本介護支援専門員協会 会長 柴口里則氏

15:40 祝辞 日本介護支援専門員連盟 会長 藤岡三之輔氏

15:45 連盟説明（規約抜粋） 沖縄県介護支援専門員連盟中部地区担当川満大輔

16:15 役員紹介 沖縄県介護支援専門員連盟 副会長 小浜泰一

16:25 記念講演 浦添市長 松本 哲治 氏

「自分たちの力で介護支援専門員の未来を切り開く」

～政策に提言できる介護支援専門員とは～

16:55 介護支援専門員連盟からの提案書 沖縄県介護支援専門員連盟 会長 與那嶺玲

17:00 閉会の挨拶 沖縄県介護支援専門員連盟 会長 與那嶺玲

監査報告書

令和4年5月5日

日本介護支援専門員連盟
会長 藤岡三之輔 殿

監事 垣内 達也 

監事  

私たち監事2名は、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの日本介護支援専門員連盟の事業並びに会計に関する監査を実施しましたので次の通り報告いたします。

監査の意見

事業報告書及び会計帳簿は、日本介護支援専門員連盟規約に則り、適正に執行されていると認めます。

以上

《事業執行及び会計については、監査報告書の通り確認しましたが、以下の点につき、今後の連盟運営の一助にさせていただきたく、監事としての意見を付記します》

会員数について

連盟の役割を勘案すれば日本介護支援専門員協会に所属しない介護支援専門員が会員となることは想定しにくいと思われます。

協会会員であり、かつ介護支援専門員の処遇改善や介護保険制度改善のためには政治的なアプローチも必要であると感じている会員が、その目的のため参集することが理想ですが、連盟の会員数は協会会員の0.3%にすぎません。

会員の増員への取組に関する意見は令和3年度書面決議総会でも複数出されています。

会員が増えない要因には、会費負担や政治活動に対する抵抗感が想定されますが、例えば「連盟」を『倫理要綱の「より良い社会づくりへの貢献」を推進するための社会資源』のようなハードルを下げた説明表現にしてみたり(社会資源の方が気楽に参加協力しやすいか?)、支部役員会レベルで連盟活動を理解してもらう資料の提供なども検討してみてはどうかと思います。

議 題

第1号 令和3年度日本介護支援専門員連盟事業報告の承認を求める件

令和3年度日本介護支援専門員連盟事業報告書

令和3年1月1日～令和3年12月31日

1；会員現況

令和2年度会費納入者数（期首会員数） 99名
令和3年度会費納入者数（期末会員数） 103名

2；会議

(1) 令和3年度総会 令和3年8月29日 書面決議総会

議題1；令和2年度事業報告につき承認を求める件

議題2；令和2年度会計報告につき承認を求める件

議題3；令和4年度事業計画につき承認を求める件

議題4；令和4年度予算につき承認を求める件

議題5；令和4年度・5年度を任期とする会長選出

議題6；令和4年度・5年度を任期とする監事選出

※議案送付者数 115名（賛助会員を含む）

※返信状況 63名 55.2%の参加で過半数を超え総会として成立

※決議からは賛助会員は省いています。

※ 賛否

議案	1号	2号	3号	4号	5号	6号
賛成	98.1%	100%	100%	100%	100%	100%

※1号議案については、1名反対とのことでしたが、内容は情報提供をもっと積極的にしてほしいとの要望でした。全議案賛成多数にて可決承認。

※返信者からのご意見

○意見等

- ① 介護支援専門員の処遇改善、介護保険制度改善のためには連盟の役割が極めて重要だと考えています。
- ② 今回の衆院選で各支部に地元の議員候補者からの推薦依頼が来ているかと思いますが、連盟がなく、戸惑っているかと思いますが。今こそ連盟の必要性を高める時かと思いますが。
- ③ 会員増を是非推し進めて下さい。
- ④ 連盟の運営、総会準備、かなりの労力だったと思います。会員が少しでも増えることを願います。
- ⑤ 日本協会会員で連盟を知っている人は何%ですか？
全ケアマネで連盟を知っている人は何%ですか？
各都道府県協会では連盟を知っている人は何%ですか？

主観だけでなくエビデンスをお示しください。

- ⑥ 徳島県内のみならず四国ブロック単位での連盟設立の実現に向けて動いていきたいと現在声掛けしているところです。設立が進みようになりましたらご指導の程よろしくお願い致します。
- ⑦ 議案書の作成ありがとうございます。立派な出来上がりで驚きました。私も何とか一般の協会員のみならずにも加入していただけるような工夫を考えてまいります。

※連盟活動に対するお礼の言葉もありましたが、それは省いています。

(2) 理事会等

①令和3年6月30日(水) ZOOM 会議

- 議題1：令和2年度事業報告書案について
- 議題2：令和2年度会計決算書案について
- 議題3：令和3年度総会開催について
- 議題4：各種選挙推薦等について

②令和3年7月11日(日)～7月24日(土) 書面会議

- 議題1：令和4年度事業計画案について
- 議題2：令和4年度会計予算案について
- 議題3：選挙推薦状を出すに当たっての添付文書(案)について
資料をお送りし、期間内の返事を頂戴する形で実施

③4役会(最高顧問・会長・副会長・幹事長の会) 令和3年5月27日(木) ZOOM

3 ; 日本ケアマネジメント推進議員連盟対応について

(1) 第49回衆議院議員総選挙 当連盟推薦議員

(1) 議員名	選挙区	議員名	選挙区	議員名	選挙区
加藤 勝信	岡山 5区	岸田 文雄	広島 1区	鈴木 俊一	岩手 2区
茂木 敏充	栃木 1区	森山 裕	鹿児島 4区	田村 憲久	三重 1区
後藤 茂之	長野 4区	小林 鷹之	千葉 2区	高鳥修一	新潟 6区
橋本 岳	岡山 4区	田畑 裕明	富山 1区	渡嘉敷奈緒美	大阪 7区
井上 信治	東京 25区	安藤 高夫	東京 9区	今村 雅弘	九州比例
平井 卓也	香川 1区	細田 博之	島根 1区	遠藤 利明	山形 1区
金子 恭之	熊本 4区	山本 幸三	福岡 10区	長尾 敬	大阪 14区
上野 宏史	北関東比例	石田 真敏	和歌山 2区	和田 義明	北海道 5区
門 博文	和歌山 1区				

議員連盟以外の方の推薦者

議員名	選挙区	推薦依頼元	議員名	選挙区	推薦依頼元
二階 俊博	和歌山 3区	和歌山協会	甘利 明	神奈川 13区	自民幹事長
鬼木 誠	福岡 2区	福岡県協会	原田 義明	福岡 5区	福岡県協会
大串 まさき	兵庫 6区	宝塚市協会	稲津 久	北海道 10区	北海道協会

(2) 選挙結果

令和3年10月31日第49回衆議院議員総選挙推薦当落一覧表

議連メンバー

				年齢	小選挙区	比例	推薦状
伊吹	文明	衆院・京都1区	引退	83			
尾辻	秀久	参院・鹿児島県	R7	81			
加藤	勝信	衆院・岡山5区		65	当選		○
嶋下	一郎	衆院・東京13区	引退	72			
岸田	文雄	衆院・広島1区		64	当選		○
鈴木	俊一	衆院・岩手2区		68	当選		○
松本	純	衆院・神奈川1区		71	×		—
茂木	敏充	衆院・栃木5区		66	当選		○
森山	裕	衆院・鹿児島4区		76	当選		○
衛藤	晟一	参院・全国比例	R7	74			
丸川	珠代	参院・東京都	R7	50			
田村	憲久	衆院・三重1区		56	当選		○
後藤	茂之	衆院・長野4区		65	当選		○
後藤田	正純	衆院・徳島1区		52	×	当選	—
武見	敬三	参院・東京都	R7	69			
古川	俊治	参院・埼玉県	R7	58			
藤井	基之	参院・全国比例	R4.7引退	74			
あべ	俊子	衆院・岡山3区		62	×	当選	○
小林	鷹之	衆院・千葉2区		46	当選		○
高鳥	修一	衆院・新潟6区		61	×	当選	○
橋本	岳	衆院・岡山4区		47	当選		○
田畑	裕明	衆院・富山1区		48	当選		○
富岡	勉	衆院・長崎1区	引退	73			
福岡	資麿	参院・佐賀県	R4	48			○
渡嘉敷	奈緒美	衆院・大阪7区		59	×	次点	○
本田	顕子	参院・全国比例	R7	50			
井上	信治	衆院・東京25区		52	当選		○
菅原	一秀	衆院・東京9区	不出馬	59			
古屋	圭司	衆院・岐阜5区		68	当選		—
末松	信介	参院・兵庫県	R4	65			○
吉野	正芳	衆院・福島5区		73	当選		—
船橋	利実	衆院・北海道1区		60	×	次点	—
安藤	高夫	衆院・東京9区		62	×	次点	○
島村	大	参院・神奈川県	R7	61			
今村	雅弘	衆院・九州比例		74		当選	○
平井	卓也	衆院・香川1区		63	×	当選	○
細田	博之	衆院・島根1区		77	当選		○

遠藤 利明	衆院・山形1区		71	当選		○
園田 修光	参院・全国比例	R4	64			○
三宅 伸吾	参院・香川県	R7	60			
鷲尾 英一郎	衆院・北陸信越比例		44		当選	—
羽生田 俊	参院・全国比例	R7	73			
金子 恭之	衆院・熊本4区		60	当選		○
平沢 勝栄	衆院・東京17区		76	当選		—
山本 幸三	衆院・福岡10区		73	×		○
長尾 敬	衆院・大阪14区		58	×		○
木村 哲也	衆院・千葉4区		52	×	次点	—
上野 宏史	衆院・北関東比例		50		×	○
関 芳弘	衆院・兵庫3区		56	当選		—
塩崎 恭久	衆院・愛媛1区	引退	70			
自見 はなこ	参院・全国比例	R4	45			○
片山 さつき	参院・全国比例	R4	62			○
和田 義明	衆院・北海道5区		50	当選		○
世耕 弘成	参院・和歌山県	R7	59			
門 博文	衆院・和歌山1区		56	×		○
石田 真敏	衆院・和歌山2区		69	当選		○
鶴保 庸介	参院・和歌山県	R4	54			○

議連メンバー以外

二階 俊博	衆院・和歌山3区		82	当選		○
甘利 明	衆院・神奈川13区		72	×	当選	○
鬼木 誠	衆院・福岡2区		49	当選		○
原田 義明	衆院・福岡5区		77	×		○
大串 まさき	衆院・兵庫6区		55	×	当選	○
稲津 久	衆院・北海道10区		63	当選		○

(3) 選挙結果を受けての議員連盟メンバー

役職	氏名	選挙区		役職	氏名	選挙区
会長	尾辻 秀久	参・鹿児島県		参加者	末松 信介	参・兵庫県
顧問	加藤 勝信	衆・岡山5区		“	吉野 正芳	衆・福島5区
“	岸田 文雄	衆・広島1区		“	古屋 圭司	衆・岐阜5区
“	鈴木 俊一	衆・岩手2区		“	島村 大	参・神奈川
“	茂木 敏充	衆・栃木5区		“	今村 雅弘	衆・九州比例
“	森山 裕	衆・鹿児島4区		“	平井 卓也	衆・香川1区
“	衛藤 晟一	参・全国比例		“	細田 博之	衆・島根1区
“	丸川 珠代	参・東京都		“	遠藤 利明	衆・山形1区
幹事長	田村 憲久	衆・三重1区		“	園田 修光	参・全国比例
副幹事長	後藤 茂之	衆・長野4区		“	三宅 伸吾	参・香川県

“	後藤田 正純	衆・徳島1区	“	鷺尾 英一郎	衆・北信越比例
“	武見 敬三	参・東京都	“	羽生田 俊	参・全国比例
“	古川 俊治	参・埼玉県	“	金子 恭之	衆・熊本4区
幹事	あべ 俊子	衆・岡山3区	“	平沢 勝栄	衆・東京17区
“	小林 鷹之	衆・千葉2区	“	関 芳弘	衆・兵庫3区
“	高鳥 修一	衆・新潟6区	“	自見 はなこ	参・全国比例
“	橋本 岳	衆・岡山4区	“	片山 さつき	参・全国比例
“	田畑 裕明	衆・富山1区	“	和田 義明	衆・北海道5区
“	福岡 資麿	参・佐賀県	“	世耕 弘成	参・和歌山県
事務局長	本田 あきこ	参・全国比例	“	石田 真敏	衆・和歌山2区
参加者	井上 信治	衆・東京25区	“	鶴保 庸介	参・和歌山県

以上 42名

(4) 本田あきこ新事務局長との会談

※とかしきなおみ前事務局長と尾辻秀久会長との協議の結果、前事務局次長であった「本田あきこ参議院議員」を次期事務局長にした小野連絡が11月5日にとかしき先生から連絡があった。

※11月10日藤岡が、本田議員を表敬訪問し、今後の運営について依頼を行った。

※12月13日藤岡会長、濱田・坪根副会長、初山幹事長、松田理事5人で、本田あきこ議員事務所に伺い、議員連盟の今後について依頼を行った。

4 ; 連盟の対外活動

(1) 国民政治協会——①会費は納入 ②令和3年度はコロナのため集いは中止

(2) 日本介護支援専門員協会「支部長会」連盟挨拶

(3) 「各種団体協議会懇談会」

◎厚生関係団体協議会加盟団体 として参加

◎自由民主党組織運動本部・団体総局主催

◎要望書等提出

(4) 衆参議員の勉強会、セミナー・励ます会、等

令和3年度 国会議員などロビー活動一覧

日付	議員名	会の名称など
1月23日		国民政治協会「経済界と自由民主党役員との懇談会」中止
1月23日	上野 宏史	上野宏史国政セミナー
3月29日	加藤 勝信	勝会 第32回加藤勝信昼食勉強会
4月21日	小川 克己	小川かつみ君の更なる飛躍を期する会
4月21日	鴨下 一郎	鴨下一郎 luncheon seminar
4月24日	岡下 昌平	岡下昌平君を励ます会
4月26日		新政策研究会 政策セミナー

5月24日	片山 さつき	片山さつき政経セミナー
6月24日	田畑 裕明	田畑裕明君を育てる会 2021
6月26日	渡嘉敷奈緒美	とかしきなおみ議員ご母堂「渡嘉敷美恵子」お別れ会
6月28日	加藤 勝信	勝会 第33回加藤勝信昼食勉強会
6月28日	細田 博之	細田博之時局講演会
7月6日	甘利 明	甘利 明君を囲む会 2021
7月6日	櫻田 義孝	櫻田 義孝君を励ます会
7月7日	後藤 茂之	後藤茂之君を励ます会
7月8日		第6回水月会セミナー
7月8日	今村 雅彦	今村雅彦君と明日の日本を語る会
7月8日	三原 朝彦	三原 朝彦君を励ます会
7月13日	福岡 資麿	福岡 たかまる君を励ます会
8月24日	後藤 茂之	「藤信会」後藤茂之モーニングフォーラム
9月13日	武見 敬三	敬人会 武見 敬三「勉強会」
9月21日	山本 拓	山本 拓 「新産業政策フォーラム」
9月24日		志帥会「新たな時代の国家戦略」(二階派)
10月1日	福岡 資麿	参議院議員福岡たかまる君を励ます会(セミナー)
10月4日	岡下 昌平	岡下 昌平君を励ます会
10月5日	後藤 茂之	「藤信会」後藤茂之モーニングフォーラム(第100回)
10月6日	渡嘉敷奈緒美	とかしきなおみ君を励ます会
10月7日	加藤 勝信	勝会 第34回加藤勝信昼食勉強会
11月2日	伊吹 文明	「伊吹文明」明風会・自由社会研究会
11月25日	後藤 茂之	「藤信会」後藤茂之モーニングフォーラム
11月29日	松川 るい	参議院議員 松川るいを育てる会
12月1日	松山 政司	松山政司政経文化セミナー
12月4日	西村 康稔	西村康利 大坂康風会「特別セミナー」
12月6日	田村 憲久	田村憲久君を応援する会
12月6日		清和政策研究会(安倍派)
12月7日	衛藤 晟一	「衛藤晟一」と明日を語る会
12月9日	世耕 弘成	参議院議員議員 世耕弘成「政経セミナー」
12月9日	園田 修光	参議院議員議員 そのだ修光君を後援する集い
12月13日	武見 敬三	武見敬三セミナー
12月13日		平成研究会セミナー(茂木派)
12月13日	加藤 勝信	勝会 第35回加藤勝信昼食勉強会
12月13日		自由民主党 大阪政経懇談会
12月14日	加藤 勝信	加藤勝信君と日本の未来を語る会セミナー

(5) 自由民主党各種会議に出席・要望

① 3月21日 自由民主党 党大会 WEB参加

- ②5月24日 自由民主党 各種団体協議会懇談会 藤岡会長・濱田副会長 が参加
- ③8月 5日 自由民主党「主要団体実務者研修会」 藤岡会長 が参加
- ④10月18日 自由民主党 政権公約に関する政策懇談会 藤岡会長・坪根副会長・初山幹事長 が参加
- ⑤11月29日 自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」 藤岡会長・濱田副会長が参加
- ⑥12月13日 自由民主党 大阪政経懇談会 濱田副会長が参加

(6) その他

- ①議連の先生方へ暑中見舞状 発送
- ②議連の先生方へ年賀状 発送
- ③大臣就任祝
- ④岸田総理就任祝 等

5 ; 選挙推薦状（総選挙以外）の交付

(1) 次期第26回参議院議員議員選挙

- ① 鶴保 庸介 氏、 ②末松 信介 氏、 ③福岡 資麿 氏 ④そのだ修光 氏
- ⑤ 自見はなこ 氏、 ⑥片山さつき 氏

(2) 参議院議員補欠選挙

- ① 山口県選出参議院議員補欠選挙 北村 経夫 氏 10月24日投開票 当選
- ② 静岡県選出参議院議員補欠選挙 若林 洋平 氏 10月24日投開票 落選

(3) 知事選挙

- ① 山形県知事選挙 大内 理加 氏 1月24日投開票 落選
- ② 千葉県知事選挙 関 政幸 氏 3月21日投開票 落選
- ③ 静岡県知事選挙 岩井 茂樹 氏 6月20日投開票 落選

(4) 県議選

- ① 兵庫県議会議員補欠選挙（宝塚市選挙区） 5月23日投開票 当選

(5) 市議会議員選挙

- ① 大阪府阪南市市議会議員選挙 岡 やよい 氏 9月19日投開票 当選

第2号 令和3年度日本介護支援専門員連盟決算につき承認を求める件

令和3年1月1日～12月31日

令和3年度 日本介護支援専門員連盟 会計決算報告書

収 入 の 部					
款	項	3年度予算	3年度決算	差 額	備考
第1款		240,000	315,000	75,000	
会 費	年 会 費	240,000	312,000	72,000	104名 X 3000
	過年度会費	0	3,000	3,000	1名
第2款		0	0	0	
事業収入	研修会等収入	0	0	0	
第3款		140,000	775,445	635,445	
寄 付 金	寄 付 金 等	140,000	775,445	635,445	25件
第4款		10,000	2	-9,998	
雑 収 入	預 金 利 息	0	2	2	預金利息
	雑 収 入	10,000	0	-10,000	
第5款予備費	予 備 費	0	0	0	
第6款繰越金	前年度繰越金	70,000	236,388	166,388	
合 計		460,000	1,326,835	866,835	

支 出 の 部					
款	項	3年度予算	3年度決算	差額	備考
第1款		200,000	329,700	129,700	
組織活動費	組織活動費等	150,000	321,280	171,280	政治活動費など
	役員出張費等	50,000	8,420	-41,580	出張費・タクシー代等
第2款		80,000	130,909	50,909	
事 務 費	事務所関連費	20,000	12,925	-7,075	備品・消耗品・事務費等
	通 信 費	30,000	80,707	50,707	郵送・電話・電報・振込
	印 刷 費	30,000	37,277	7,277	チラシ・会議資料等印刷費
第3款		30,000	7,370	-22,630	
会 議 費	総会関係費	10,000	0	-10,000	総会関連費（会場費等）
	理事会関係費	5,000	7,370	2,370	理事会関連費（会場費等）
	会場費	15,000	0	-15,000	研修会等会場費
第4款		100,000	80,000	-20,000	
渉 外 費	寄付金	50,000	50,000	0	国民政治協会寄付金
	宣伝費等	50,000	30,000	-20,000	連盟PR費用等
第5款		50,000	9,350	-40,650	
予 備 費	予備費	50,000	9,350	-40,650	予備的支出
第6款		0	769,506	769,506	
繰 越 金	次年度繰越金	0	769,506	769,506	次年度繰越金

合 計	460,000	1,326,835	866,835	
-----	---------	-----------	---------	--

純支出	合計—繰越金	1,326,835—769,506	557,329円
-----	--------	-------------------	----------

【会計参考資料 1】

令和3年度 日本介護支援専門員連盟 会計収支一覧

収入	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
会費	120000	57000	63000	9000	6000	6000	39000	3000	6000	0	6000	0	315000
寄付	135445	14000	136000	0	0	20000	310000	0	0	120000	0	40000	775445
繰越	236388												236388
利息								2					2
合計	491833	71000	199000	9000	6000	26000	349000	3002	6000	120000	6000	40000	1326835
支出	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
合計	29362	44164	8322	4161	30000	31250	28645	54749	21095	68481	67590	169510	557329
収支	462471	26836	190678	4839	24000	5250	320355	51747	15095	51519	61590	129510	769506

【会計参考資料 2】

令和3年度支出細目一覧表

日付	支 出 先	金 額	月合計	振分先
1/6	秋田・千葉両県知事選挙推薦額等	3,062		組織活動費
1/13	N T T	4,160		通信費
1/18	ヤマトファイナンス手数料	6,314		事務費
1/19	会費請求郵送代金	9,400		通信費
1/19	会費返還に関する関連費	4,481		事務費
1/20	現金書留封筒代金	21		事務費
1/20	現金書留郵送費	519		通信費
1/26	封筒代金	220		事務費
1/29	連盟ゴム印	1,185	29,362	事務費
2/1	レターパック	1,110		通信費
2/1	N T T	4,159		通信費
2/3	ゆうパック	1,080		通信費
2/18	レターパック	6,300		通信費
2/20	大臣就任祝（議連会員で大臣就任者）	31,515	44,164	組織活動費
3/4	N T T	4,161		通信費
3/8	N T T	4,161	8,322	通信費
4/8	N T T	4,161	4,161	通信費
5/10	全国大会広告宣伝費	30,000	30,000	宣伝事業費

6/10	田畑裕明君を励ます会参加費（初山幹事長）	20,000		組織活動費
6/18	中元	11,250	31,250	組織活動費
7/2	渡嘉敷事務局長ご母堂供花	22,330		組織活動費
7/12	暑中見舞い	3,465		組織活動費
7/20	切手代金	2,520		通信費
7/20	封筒代金	330	28,645	事務費
8/5	総会資料印刷費	32,699		印刷費
8/7	総会資料発送費	22,050	54,749	通信費
9/7	印刷費	4,578		印刷費
9/7	総会結果報告書送料	8,736		通信費
9/7	衆議院議員選挙推薦状印刷費	3,431		組織活動費
9/22	衆議院議員選挙推薦状印刷費	2,150		組織活動費
9/24	衆議院議員選挙推薦状印刷費	1,210		組織活動費
9/28	衆議院議員選挙推薦状印刷費	990	21,095	組織活動費
10/4	衆議院議員選挙推薦状印刷費	2,107		組織活動費
10/6	衆議院議員選挙推薦状印刷費	5,280		組織活動費
10/12	衆議院議員選挙推薦状印刷費	4,200		組織活動費
10/12	社会保障政策懇話会参加費（藤岡）	20,000		組織活動費
10/12	田村憲久パーティ参加費（藤岡）	20,000		組織活動費
10/14	封筒代金	374		事務費
10/15	衆議院議員選挙推薦状印刷費	700		組織活動費
10/18	J-ファイル送料	1,260		通信費
10/19	推薦報告書協会全支部送料	6,160		通信費
10/22	衆議院議員選挙推薦状印刷費	400		組織活動費
10/27	片山さつき懇談会参加費（藤岡・坪根）	8,000	68,481	組織活動費
11/14	歳暮	7,470		組織活動費
11/15	大臣表彰お祝（初山幹事長受賞祝）	9,350		予備費
11/29	国民政治協会寄付金	50,000		渉外費寄付金
11/29	振込手数料	770	67,590	通信費
12/9	政経セミナー参加費（坪根）	20,000		組織活動費
12/9	会議費	7,370		会議費
12/10	日本協会お祝金連盟負担金	22,000		組織活動費
12/10	岸田総理就任祝	22,000		組織活動費
12/13	タクシー代金（2100+1620+1620+1380+1700）	8,420		役員出張費
12/13	平成研究会参加費（濱田・藤岡・初山・松田）	80,000		組織活動費
12/13	推進議連事務局長手土産	9,720	169,510	組織活動費
	総合計		557,329	

令和4年度日本介護支援専門員連盟事業計画案

令和4年1月1日～令和4年12月31日

令和3年度は、介護保険法の改正及び介護報酬改定がなされ、当連盟は日本介護支援専門員協会の補完的立場にて、政治的対応を通じ、ある程度の成果を得ることが出来ました。また、令和3年秋に行われた衆議院議員総選挙の結果を踏まえ、新たな動きをする必要があります。そのような状況に鑑み以下の事業を行っていく。

1. 日常の政治活動

日本介護支援専門員協会の会務及び事業の円滑な推進に不可欠な政治活動分野を受け持ち、介護支援専門員の職能の確立と向上、業権の確保と充実、ケアマネジメントの質の向上等の目的達成のために、日本介護支援専門員協会と常に一体としての活動を展開する。

2. 組織の充実

会員の勧誘、入会促進を図るとともに、活動基盤である都道府県支部の設立要請・組織作りに努め、研修会開催などを進める。

3. 広報活動（PR活動）

日本介護支援専門員連盟の活動や状況について連盟ホームページで可能な限りPR活動を行う。日本介護支援専門員協会広報誌（J CMAたより）の連盟コーナーを通じPRを行う。

4. 『日本ケアマネジメント推進議員連盟』活動の充実及び国会議員を通じたロビー活動

総選挙の結果を踏まえ、日本ケアマネジメント推進議員連盟の更なる充実に取り組み、介護支援専門員の処遇改善及び施設・在宅介護における介護支援専門員の業務の推進と在宅介護支援事業所の収支改善要請を関係機関等に積極的に求め展開する。

5. 居宅介護支援費利用者負担導入阻止及び利用者の負担増に対処する活動

日本協会と協同しつつ居宅介護支援費利用者負担導入阻止及び介護給付費の利用者負担増に対する軽減を求める活動を展開する。

6. 参議院議員通常選挙への対応並びに地方自治体選挙への対応

令和4年6 or 7月の参議院議員選挙、並びに都道府県・市区町村選挙において、関係議員の推薦など議員との連携を深める。

7. その他本連盟活動に資する事業

令和4年度日本介護支援専門員連盟予算案

令和4年1月1日～12月31日

収 入 の 部						
款	項	2年度決算 (確定値)	3年度予算 (総会決定)	4年度 予算	対令和3年 度予算差額	備 考 (4年度予算注記)
第1款		297,000	240,000	360,000	120,000	
会 費	年会費	297,000	240,000	360,000	120,000	3000円 x 120名
	過年度会費	0	0	0	0	
第2款		0	0	50,000	50,000	
事業収入	研修会等収入	0	0	50,000	50,000	研修会会費等
第3款		99,660	140,000	150,000	10,000	
寄付金	寄付金等	99,660	140,000	150,000	10,000	寄付金
第4款		0	10,000	10,000	0	
雑収入	預金利息	0	0	10	10	名目計上
	雑収入	0	10,000	9,990	-10	利息以外雑収入
第5款		37,147	70,000	70,000	0	
繰越金	前年度繰越金	37,147	70,000	70,000	0	3年度繰越金見込
合 計		433,807	460,000	640,000	180,000	

(注記)

- ① 年会費、4年度は120名を見越した金額を挙げています。過年度会費は実績がないので一応0にしています。
- ② 研修会費収入は、4年度開催を目指して計上しています。
- ③ 寄付金は、会員などよりの寄付収受を目指します。
- ④ 利息は殆ど発生しませんので、名目計上です。
- ⑤ 雑収入は、見込め難いですが予期せぬ収入のために計上。
- ⑥ 令和3年度の繰越金見込を計上しています。
- ⑦ 令和3年度に比し、18万円増加となっておりますが、会費収入確保増を目指しています。

支 出 の 部						
款	項	2年度決算 (確定値)	3年度予算 (総会決定)	4年度 予算	対令和3年 度予算差額	備考 (4年度注記)
第1款		73,790	200,000	200,000	0	
組織活動費	組織活動費等	66,350	150,000	100,000	-50,000	推薦中元聖母見舞等
	役員出張費等	7,440	50,000	100,000	50,000	出張費交通費等
第2款		73,629	80,000	150,000	70,000	
事務費	事務所関連費	14,823	20,000	20,000	0	謝礼備品事務費等
	通信費	58,806	30,000	50,000	20,000	郵送費手数料
	印刷費	0	30,000	80,000	50,000	資料チラシ等印刷
第3款		0	30,000	50,000	20,000	
会議費	総会関係費	0	10,000	15,000	5,000	総会関係開催費
	理事会関係費	0	5,000	10,000	5,000	理事会関係開催費
	会場費	0	15,000	25,000	10,000	研修会場費等
第4款		50,000	100,000	150,000	50,000	
渉外費	寄付金	0	50,000	50,000	0	国民政治協会寄付
	負担金	0	50,000	100,000	50,000	パーティ等負担金
第5款		0	50,000	20,000	-30,000	
予備費	予備費	0	50,000	20,000	-30,000	その他予備的支出
第6款		236,388	0	70,000	70,000	
繰越金	次年度繰越金	236,388	0	70,000	70,000	次年度当座資金
合 計		433,807	460,000	640,000	180,000	

(注記) 第1款から順に項についての注記です。

- ① 組織活動費は、選挙の推薦に係る費用や、関係議員への中元、歳暮、病氣見舞い等の他必要な活動費用として計上
- ② 今まで、役員のご負担ばかりお掛けしていますので、少しでも負担できるよう計上
- ③ 事務所費は、八丁堀ケアプランセンターへの謝礼（中元・歳暮）等の他事務的支出として計上
- ④ 通信費は、各種資料・会費請求等の送料や振込手数料を計上
- ⑤ 印刷費は、各種資料印刷や、PRのためのチラシなどの制作に関する印刷費として計上
- ⑥ 総会関係費は、総会会場費を中心に計上
- ⑦ 理事会関係費も上記と同様
- ⑧ 会場費は、研修会開催会場費として計上
- ⑨ 寄付金は、国民政治協会へ毎年寄付していますので同様に計上
- ⑩ 負担金は、現在出席者のご負担にお願いしていますが、少しでも対価を負担できればと計上
- ⑪ 予備費は、出費はあまり考えられませんが、突発的な支出のために計上

次年度繰越金は、年度替わり（令和5年度）当初のから会費収納が進んでくる間の当座のつなぎ資金として計上

現行

(役員)

第6条 本連盟に次の役員をおく。

会 長	1名
<u>副 会 長</u>	<u>3名</u>
幹 事 長	1名
常務理事	若干名
理 事	若干名
監 事	2名

改正案

(役員)

第6条 本連盟に次の役員をおく。

会 長	1名
<u>副 会 長</u>	<u>若干名</u>
幹 事 長	1名
常務理事	若干名
理 事	若干名
監 事	2名

※改正理由

副会長については、3名とすると、今後の連盟活動において、全国展開する際に、副会長人事について、柔軟に対応できるようにするため、若干名として、より多くの副会長を選任できるようにするために改正を行いたい。

※総会承認後の規約は令和4年8月31日付改正施行とする。

日本介護支援専門員連盟 規約

(名称)

第1条 本連盟は日本介護支援専門員連盟（以下本連盟という）と称する。

(事務所)

第2条 本連盟は事務所を東京都中央区におく。

(目的)

第3条 本連盟は会員相互の協力により介護支援専門員職能の向上を図るとともに、国民が住みよい福祉社会の確立を期するために、必要とする政治活動を行うことを目的とする。

(事業)

第4条 本連盟は、目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 政府、関係団体および関係者との折衝
- (2) 介護支援専門員の政治力強化のため、公職選挙法にもとづく候補者の推薦または支持
- (3) 国民に対する広報宣伝
- (4) 会員に対する情報の提供
- (5) その他の目的達成に必要な事業

(会員・賛助会員及び入退会)

第5条 本連盟は、一般社団法人日本介護支援専門員協会会員のうち本連盟の目的に賛同し入会した者をもって正会員とし組織する。

2. 賛助会員は、本連盟の目的に賛同し希望する第1項以外の者を賛助会員とする。
3. 本連盟の正会員は、別に定める入会申込書に会費を添え、本連盟に申し込むものとする。
4. 賛助会員は、その年度の賛助会費を支払った者とする。ただし、正会員と同等の権利を有しない。
5. 正会員が本連盟を退会しようとするときは、別に定める退会届を本連盟へ提出する。なお、納付済みの会費及び負担金等は返還しない。

(役員)

第6条 本連盟に次の役員をおく。

会 長	1名
副 会 長	3名
幹 事 長	1名
常務理事	若干名
理 事	若干名
監 事	2名

2. 副会長・幹事長・常務理事・理事は会長が委嘱する。
3. 本連盟に顧問及び相談役を置くことが出来る。顧問・相談役は理事会の議決を経て会長が委嘱する。顧問・相談役は本連盟の会議等に参加して意見を述べる事が出来る。但し議決権は有しない。
4. 役員・顧問・相談役は、無報酬とする。但し、会計状況により、費用弁償をすることが出来る。

(役員の仕事)

第7条 会長は、本連盟を代表し会務を総理する。

副会長は、会長を補佐し会務を分掌する。また、副会長は、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の定める順位に従い、その職務を代理する。

幹事長は、会長を補佐し会務を総括する。

常務理事および理事は、正副会長を補佐し会務を分掌する。

監事は、本連盟の会務および会計を監査する。監事は、総会、理事会、常務理事会に出席し意見を述べる事が出来る。

(役員を選任)

第8条 会長および監事は、総会において会員の中から選任する。選任に関する事項は別に定める。

2. 副会長および幹事長・常務理事・理事は、会長が会員のうちから指名する。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とし、隔年1月1日から12月31日とする。

2. 役員再任はこれを妨げない。

3. 任期満了せぬうち交代した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第10条 会議は、総会、理事会、常務理事会とし会長が招集する。

2. 会議は、出席者の多数決をもって決する。

3. 会議は、当該提案につき出席者の過半数が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の決議があったものとみなす。

4. 常務理事会は、会長・副会長・幹事長・常務理事で構成する。

5. 監事は、会議に出席して意見を述べることができるが、表決に加わることはできない。

(総会)

第11条 総会は、定時総会および臨時総会とする。

2. 定時総会は、毎年1回、臨時総会は必要があると認めるとき、あるいは会員の3分の1以上の要求があった場合、会長が招集する。

3. 総会の招集は、少なくとも開会の15日前までに、会長が目的とする事項および日時場所を告知して行う。

4. 不測の事態が生じた場合は、前項を省略或いは短縮することができる。

(総会の定足数)

第12条 総会は総正会員数の2分の1以上の出席をもって成立する。ただし委任状は出席とみなす。

(総会の議決承認事項)

第13条 総会の議決承認事項は次の通りとする。

(1) 決算に関する事項

(2) 会費に関する事項

(3) 規約変更に関する事項

(4) 会長、監事の選任

(5) その他重要な事項

2. 総会の議長は会長とする。

(理事会及び常務理事会)

第14条 理事会は、定時理事会および臨時理事会とする。

2. 定時理事会は毎年1回、臨時理事会は必要があると認めるとき会長が招集する。常務理事会は、会

長が必要であると認めるとき招集する。

3. 理事会は、理事数の2分の1以上の出席をもって成立する。ただし、委任状は出席とみなす。

4. 理事会の招集は、少なくとも開会の15日前までに、会長が目的とする事項および日時場所を告知して行う。ただし、会長が必要とする場合はこの限りではない。

5. 理事会の議長は会長とする。

(会長の応急処分と事後承認)

第15条 会長は、会議の議決を要する事項であつて、緊急を要し会議を招集するいとまがないと認めるときは、これを応急処分することができる。

2. 前項の場合は、次の会議においてその承認を得なければならない。

(理事会)

第16条 理事会は、必要があると認めるとき会長が年1回以上招集する。

2. 理事会は、理事の2分の1以上の出席を持って成立する。ただし委任状は出席とみなす。

3. 理事会における事項のうち、あらかじめ会長が判断した事項について、審議を常任理事会に委任することができる。

4. 理事会の議長は会長とする。

(理事会の審議事項)

第17条 理事会においては、会務および事業ならびに会計に関する必要かつ重要な事項の執行を決定するとともに、総会に報告または提案する事項を決定するものとする。

(庶務)

第18条 本連盟に職員若干名をおくことができる。

(会計)

第19条 本連盟の経費は、会費、賛助会費、寄付金、その他の収入をもってあてる。

(会費)

第20条 会費の額は総会が決定する。徴収方法等は理事会が決める。

2. 会費は定められた期日内に納付するものとする。

3. 会費の納入は、金融機関の自動差引を基本とするが、やむを得ない場合は、請求により納入する方法もとる。

(会計年度)

第21条 本連盟の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。

(個人情報保護)

第22条 本連盟の所有する会員等の情報は、個人情報保護法の規定に基づき、連盟活動以外には使用しない。

(規約の改廃)

第23条 本規約の改廃は、理事会の議決を経て、総会において改廃する。

(補則)

第24条 本規約に定めのない事項については、理事会で決定する。

附 則 1. 本規約は、平成22年6月1日より施行する。

2. 本規約の一部改定(事務所)は、平成26年4月15日より施行する。

3. 本規約の改正は、令和2年12月28日より施行する。

会員規則

第1条 本規則は、日本介護支援専門員連盟（以下本連盟という）規約第5，19，20，21条に基づき会員の確定方法について定める。

第2条 本連盟の会員は、その年度の会費納入者及びその年度の前年度の会費納入者とする。

第3条 その前年度の会費未納者は、退会者とする。

第4条 本規則の改廃などは、理事会でおこなう。

（付則）

本規則は、令和3年8月29日制定施行する。



東京タワーからの富士



新幹線からの富士